

令和7年度 授業改善推進プラン 外国語

学年	観点別		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
5年	・授業の際にアルファベットの発音を聞き、書く練習を行う。 ・授業の最初は必ず日付・曜日・天気・時間・時間割等の質問を行い、日常で使う単語に触れさせる。 ・英語のリズムを大切にしながら発音させる。 ・文章の書き写しをする際に、語順を確認してから書き写しをさせる。 ・自分のことや身近で簡単なことを、例文を参考に書くことができるよう、適切な例文の提示を行う。 ・イラストや写真を見せるときは、スペルを記載したものを提示し、英語に触れる機会をとる。	・コミュニケーションを行う際には、児童に「目的や場面、状況など」具体的な場面設定を行い、必然性のある活動にする。 ・コミュニケーションに用いるための語彙を増やす時間を設け、「慣れ親しんだ言葉」を増やしていく。 ・児童相互で対話する機会を増やし、意識的に外国語で話す機会を増やす。 ・音声だけでなく、ジェスチャーや表情などを加えてコミュニケーションをとるようにする。	・興味をもって取り組むことができる言語活動を易しいものから段階的に取り入れる。 ・自分の気持ちを伝えたいと思えるような教材・場面の設定の工夫をしていく。 ・ゲームやチャンツを活用して楽しく取り組めるようにしていく。
6年	・ノートに単語や短い文を書く時間を設け基礎的な力を獲得する時間を確保する。 ・単語とイラストを示すことで言葉を獲得できるようにする。 ・自分のことや身近で簡単なことを、例文を参考に書くことができるよう、適切な例文の提示を行う。	・対話の練習の際に場の設定、目的を児童にしっかりと理解できるように画像や映像を活用する。 ・対話の練習を1回で終わらず、何度も繰り返し練習できるようにする。 ・役割設定を行うことで会話に必要制をもたせる。	・場面設定をする際に、タブレットでの検索を活用して児童自身が話したい文章を作成できるようにしていく。 ・対話文を1度に言わせず、センテンスごとに区切って、少しずつ発話する語を増やして易から難の組み立てで行う。 ・ゲームやチャンツなどを多く取り入れ、主体的に取り組める時間を設定する。